

地域活動を応援する

地域のわ通信

R7年8月
NO.92過去の「地域のわ通信」は、
こちらをご覧ください。地域のみんなと子育てしたい！
好きを活かして地域活動

「地域のみんなと子育てしたい！」——そんな思いを好きな書道を通して何かできないかと、夏休み子ども企画「書道体験教室」を沢渡三ツ沢地域ケアプラザで実施した増田美貴さん。地域の大人の関わりが薄れる中、自分の好きなことでそのきっかけができればと、活動を始めた増田さんに、地域の関わりや活動について聞きました。



写真：うちわに書を書いた小学生に声をかける増田さん

「夏休み子ども企画！書道体験教室」を開催した経緯は？

子育てする中で地域の人たちと顔なじみになるにつれ、我が子を含めた地域の子どもたちの成長に関わる大人の一人になりたいと考えるようになりました。「学校」と「家」だけでなく、困ったときに相談できる身近な大人になるために、地域で私ができることを探そうと、前から気になっていた「神奈川県地域づくり大学校（※以下、地域大）」に2024年に参加しました。自分にできる書道と、日ごろ感じていた「地域のみんなと子育てがしたい」思いを重ねた活動として、今回の「書道体験教室」を考えました。

（*）神奈川県地域づくり大学校
地域の新たなつながりを創り出し、実現したい活動をカタチにしていく連続講座。

■ 増田さんと地域活動のつながり

Chikiryoku
Up!

神奈川区
地域づくり大学校

中間支援組織として
地域大へ参加

【10期】2024年度 卒業

【7期】2021年度 卒業

沢渡三ツ沢地域ケアプラザ
田中地域活動交流コーディネーター

「地域大は地域で活動したい人と直接
出合える場。増田さんと出会えて、活
動実現までの伴走ができてよかった」



三ツ沢上町の地域の方

増田さんが地域に目を向けたきっかけは、輪番で三ツ沢上町町会の班長になったこと。現在は、町内会の活動に参加し、地域食堂「ふれあいっこ三ツ沢」には子どもたちを連れてお客さんとして通う。

書道体験教室

増田美貴さん

地域で学齢期の親同士のつながりが少ないことが気になっていた。得意な書道でそのきっかけができないかと、地域大で「ワクワク書道体験」の活動プランを考える。

宮北沙和美さん

地域SNSピアッザで書道を通して増田さんと知り合いに。書道活動の協力者。「増田さんの地域大への参加も後押ししました」

実際に地域で活動をはじめるのは勇気がいることだと思いますが



左から宮北さん、増田さん、田中
コーディネーター

ひとりではできなかったと思います。活動が実現できたのは、応援者がいたからです。沢渡三ツ沢地域ケアプラザの田中コーディネーターが地域大で私の活動プランを知り「一緒にやりましょう」と声をかけてくださったこと、そして、地域SNSピアッザで知り合った地域大の卒業生であり書道仲間でもある友人（宮北さん）の存在も大きかったです。

初めて実施した7月19日(土)の「書道体験教室」の様子は



真剣に書と
触れ合う時間



書を通して、文字と向き合う小学生たち

小学2年から5年生の5人が参加してくれました。うちわに好きな文字を書くワークショップで、子どもたちがうちわに描く文字がなかなか決まらず、予想外でドキドキしました。でも完成した時の子どもたちの達成感に満ちた笑顔が新鮮でした。付き添いの保護者の方が子どもたちの作品を楽しみながら交流されていて、地域の大人のつながりづくりの一歩になったのも嬉しかったです。

活動が実現できた感想とこれからの抱負を教えてください



子どもたちは
墨すりに
興味深々!



完成したうちわを手にとりこり

とにかく実現できてよかったです。やってみないと感じられない喜びを知りました。今年5月に職場復帰し時間的な余裕が減りましたが、今のつながりを大切に、この冬には、ケアプラザで企画されている「子ども向けの書道教室」に関わる予定です。小さくても活動을続けて、「地域みんなと子育てする」雰囲気づくりに貢献ができれば嬉しいです。